

electro-harmonix

Octavix OCTAVE FUZZ

Electro-Harmonix OCTAVIXをご購入いただきありがとうございます。OCTAVIXは、フリークエンシー(周波数)・ダブリングサーキットが搭載されたファズペダルです。OCTAVIXの生み出すディストーションは、軽いドライブサウンドからスピーカーを引き裂くようなファズトーンまでカバーしています。フリークエンシー・ダブリングサーキットは、クラシックチャイムやリングモジュレーターのようなオーバートーンを形成します。またBOOST、OCTAVE、VOLUMEというコントロール群と内部電圧切替スイッチを搭載しています。電圧切替スイッチは、他のオクターブファズでは得られない幅広いトーンを実現します。

注意: OCTAVIXには、Electro-HarmonixのJP9.6DC-200 ACアダプターが付属しています(実際の消費電流は、62mA at 9VDC センターマイナスプラグとなります)。上記以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります。誤ったACアダプターの使用が原因での故障については保証対象外となりますのでご注意ください。また9V電池1個でも動作します。

演奏を開始するには

本機の頭側に配置されている9V電源ジャックに付属の電源アダプターを接続し、本機のINPUTジャックに楽器からの信号を入力します。また、AMPジャックとアンプ側のインプットを楽器用ケーブルで接続します。

サンプルセッティング:

WARM FUZZ



9 24

CLASSIC OCTAVE FUZZ



9 24

ヒント:演奏をする際に弦を軽めにヒットすると、オクターブ上のエフェクト(トーン)がよりはっきり聞こえるようになります。

— コントロールについて —

BOOST(ブースト)コントロール: ファズ(ディストーション)の量を調節します。

ヒント: BOOSTコントロールを高めに設定しているときにギターの音量を少し下げると、ほんの少し壊れたようなファズサウンドを得ることが出来ます。

OCTAVE(オクターブ)コントロール: オクターブ上の信号の音量を調節します。反時計回り一杯に回すと、オクターブ上の信号がシグナルパスから取り除かれます。

VOLUME(ボリューム)コントロール: エフェクト音の音量を調節します。

9/24V トグルスイッチ: OCTAVEコントロールのちょうど下に電圧切替スイッチが装備されています。このスイッチは回路全体に供給される電源の電圧を切り替えるもので、"9"側にスイッチを設定すると本機の回路には9V電圧の電源が供給され、"24"側に設定すると24Vの電源が供給されます。9Vのサウンドは70年代中頃のクラシック・ファズを彷彿とさせます。24Vではよりタイトなサウンドとなり、豊かなオクターブトーンを生み出します。

注意: "9"から"24"に切り替える際は、音量がブーストされる前に一瞬音量が下がることがあります。これは内部コンデンサが24Vにアップするのに1~2秒の時間を要するからで、不良ではありません。

注意: 24Vモードでは、全てのコントロールが時計回り一杯に設定されているとフィードバックを起こして甲高いサウンドが生じることがありますが、不良ではありません。

フットスイッチ & LED: このスイッチで、本体エフェクトのオンとオフ(トゥルーバイパス)を切り替えます。オンにすると、スイッチ横のLEDが点灯します。

INPUT(インプット)ジャック: ご使用の楽器を接続する入力端子で、接続には楽器用ケーブルを使用します。入力インピーダンスは1MΩです。

AMP(アンプ)ジャック: 本機からの信号を出力する端子で、アンプや後段のエフェクター等と接続します。接続には楽器用ケーブルを使用します。

9V電源ジャック: 本機の頭側に配置されている、電源アダプターを接続するための入力端子です。必ず付属のElectro-Harmonix JP9.6DC-200 ACアダプターを使用して下さい(それ以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります)。消費電流は62mAで、電源アダプターは9VDCセンターマイナスです。

電池交換について: 電池交換時は、本体底面の4つのネジを外します。裏蓋を外している間は、誤って基板に触れて破損しないようにご注意ください。また電池の寿命をより長くお使い頂くために、使用しないときはINPUTジャックには何も接続しないで下さい(24Vモードの際は、9Vモードのときよりも多くの電力が消費されます)。

消費電流: 本機の消費電流は、トグルスイッチが9Vモードのときは9mA、24Vモードでは62mAとなります。